

発表3 梅津・高木

- ① 「コミュニケーション能力テスト」再考＞
テストのパラダイムチェンジと生涯教育へ
- ② AJE-SIG としての OJAE Webプレゼンス：
OJAE Webページを有効に共有するために

第3発表

① 「コミュニケーション能力テスト」の意義 ーテストの**パラダイムチェンジ**と**生涯教育**へー

第一、第二発表からも明らかになってきたように、我々はOJAEスピーキングテストの開発研究をしてきた中でコミュニケーション能力はなんのために、どのように測るかというテストそのもののあり方を見直してみる必要性に直面した。

そこで、ここでは従来のテスト形態を新たに見直し、OJAEが実践研究してきた過程で明らかになった**コミュニケーション能力テストのあり方**についてまず言及する。

3. 1.1 従来の口頭能力試験

図1: 従来の上下構造内の能力判定テスト

3.1.1 縦型：従来の上下構造内の口頭能力判定テスト

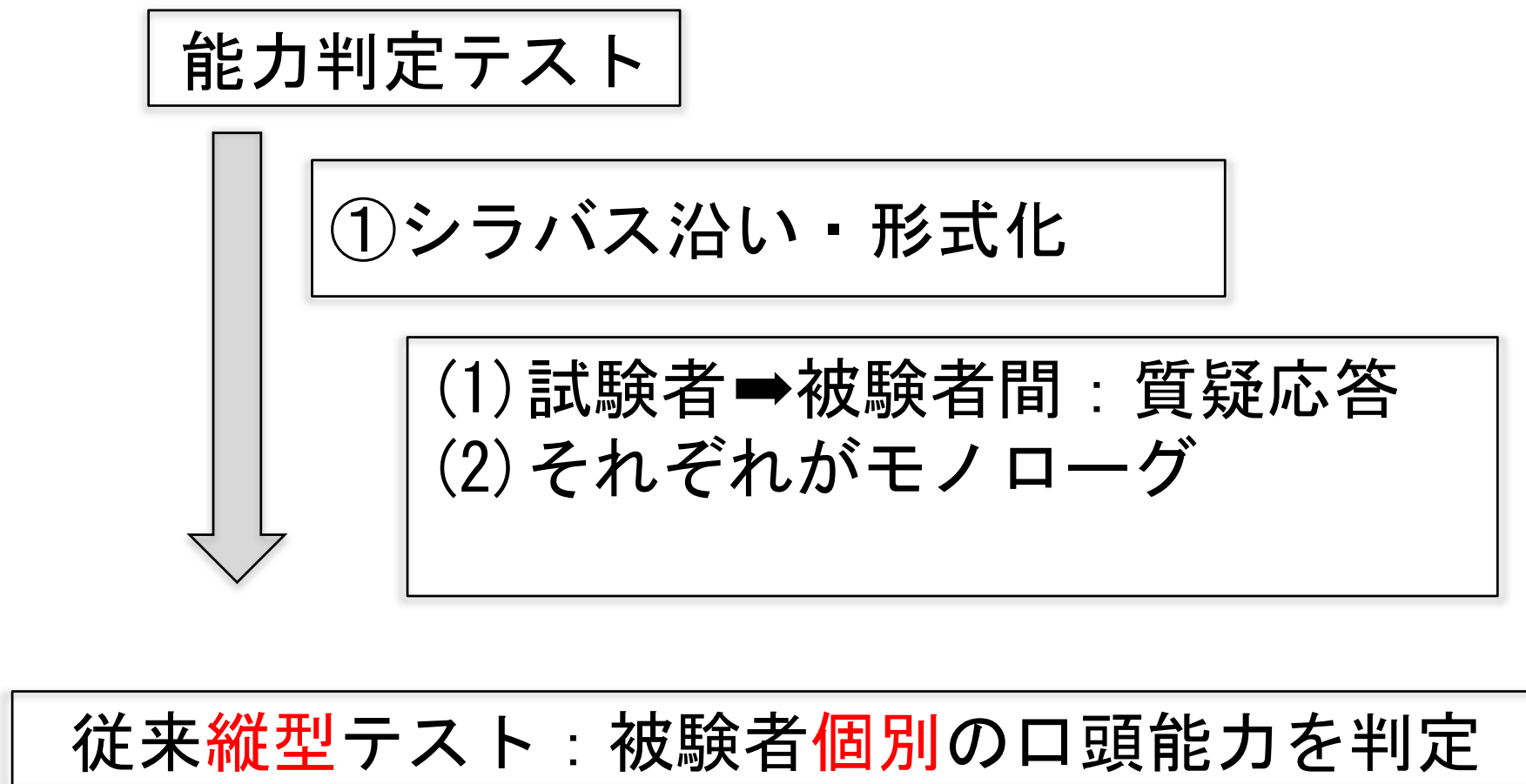


図1：従来の上下構造内の能力判定テスト縦型

3.1.2 OJAE 共創型: コミュニケーション能力テスト →
OJAEテストによって出現してくる「共創の場」の提供

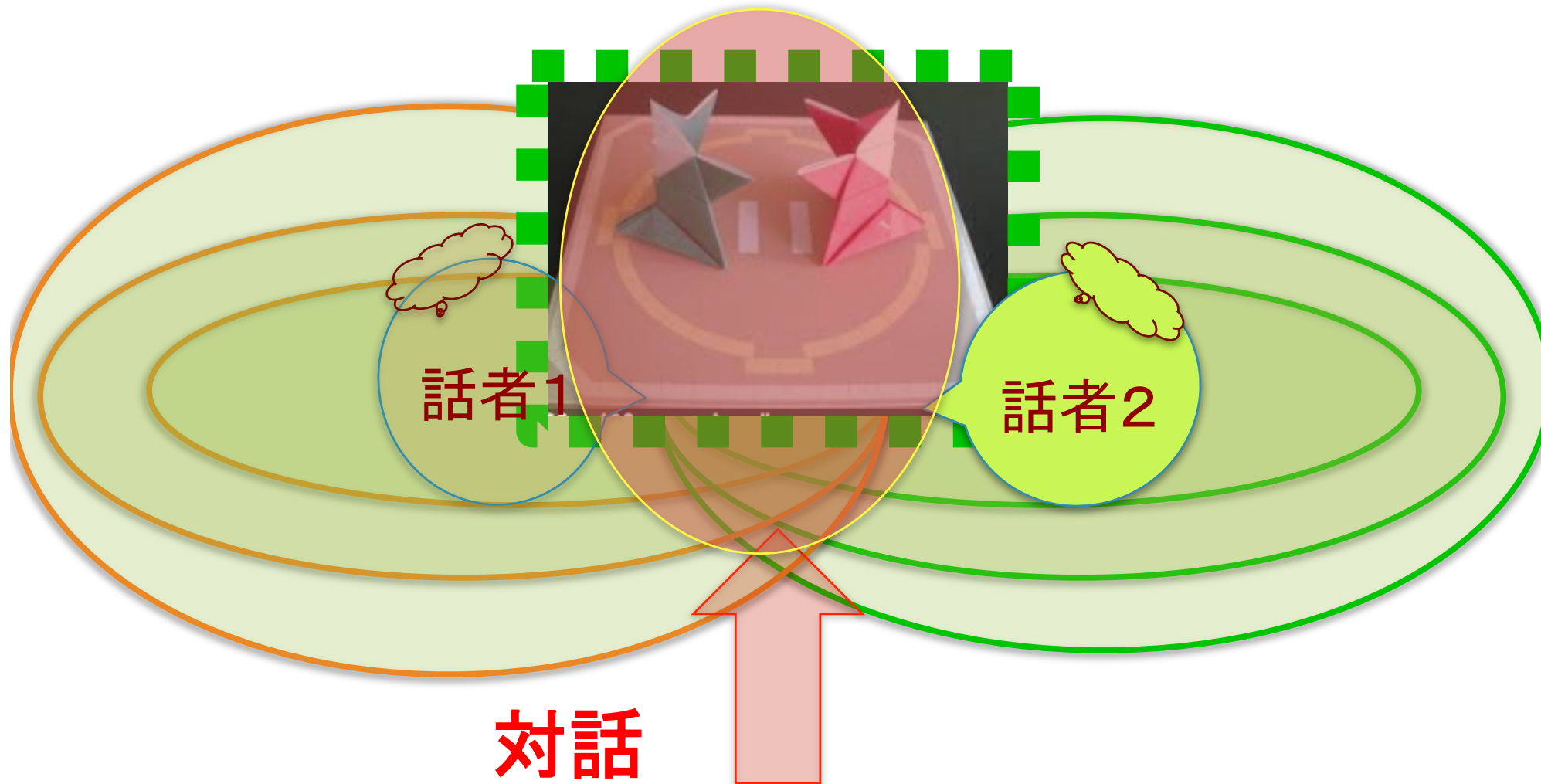
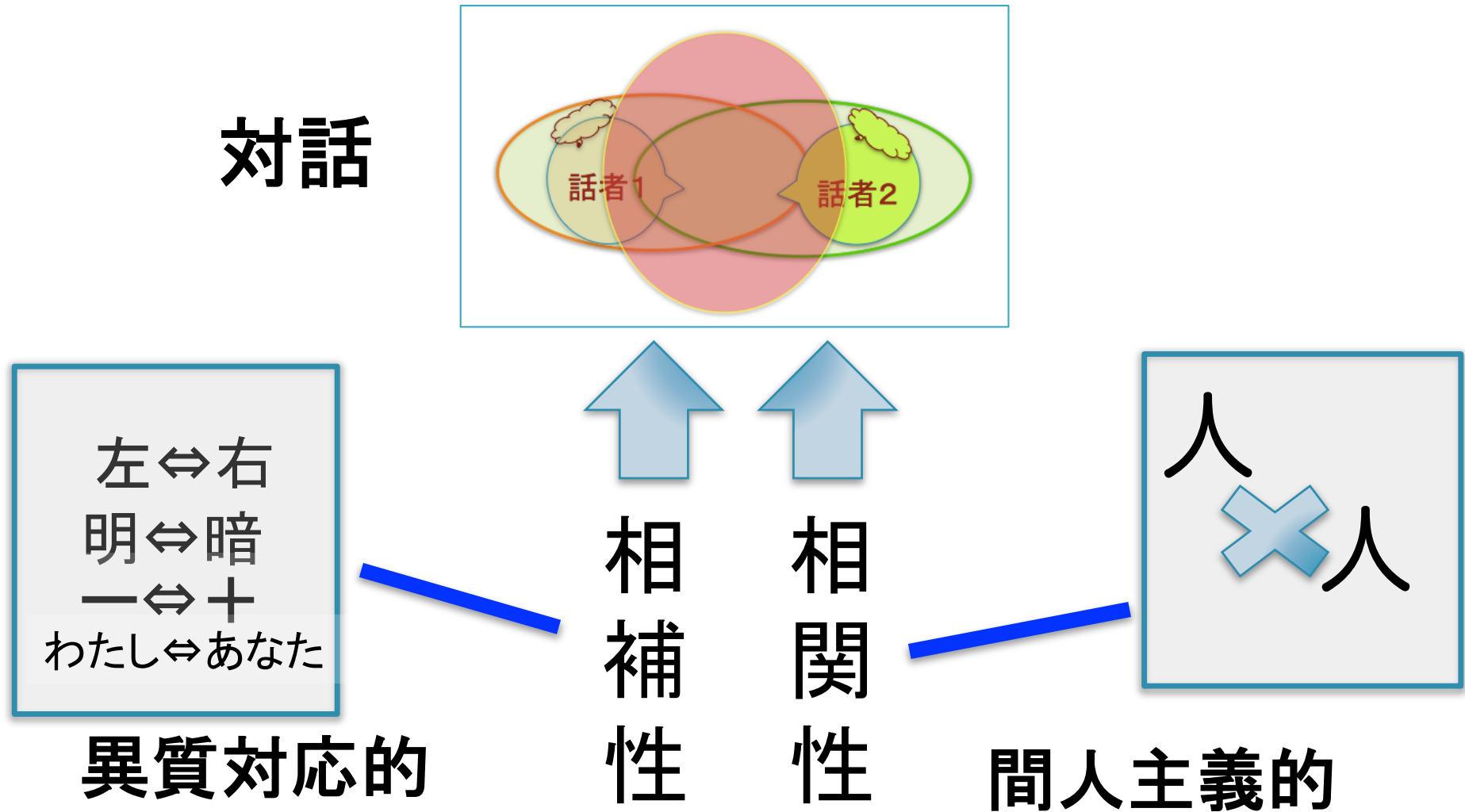


図2: OJAE発想: 「コミュニケーション共創の場」
(SCHÄFTER 2017)

3.1.3 共創の場 醸成:コミュニケーション土俵における
言語相互作用対話活動→OJAE「原理」相補性・相関性



3.1.4 OJAEテストは何のために

【パネル】OJAE (*Oral Japanese Assessment Europe*) ヨーロッパ生まれの日本語コミュニケーション能力テスト:測る>伸びる>育む
—対話力を鍛えて「ことば」のできる世界市民となる—

- 1) OJAEテストはコミュニケーション能力を測ることによってその達成度を確認するもの。(測る)
- 2) 被験者はテストのプロセスで課題を適切に遂行したか、どこに改善点があるかなどのコミュニケーション能力を向上させるためには今後どのような学習活動の可能性があるかといったフィードバックを得る。(伸びる)
- 3) フィードバックを参考にして一層のコミュニケーション能力向上への意欲に繋げていく。(育む)

3.1.5 生涯教育へ

- 1) OJAEテスト法は「測る」「伸びる」「育む」というプロセスを踏むアセスメントを可能にする。つまり、想像力と論理的思考を鍛えるテスト法。
- 2) 学校教育の枠を超えた人間教育として、生涯教育へとつながっていくために貢献するテスト法。

発表3 高木

② AJE-SIG としての OJAE Webプレゼンス： OJAE Webページを有効に共有するために

OJAE研究チームは、これまで ①OJAEテスト設計図、②プロンプトを含む各レベルのテスト、③OJAEテストスクリプト、④OJAEテスト評価基準表、⑤評価シート、⑥フィードバックシート、⑦レベル基準表示DVDを開発してきた。将来的には、それら全てをAJE-SIGのウェブページに公開し、OJAEテストを機関、会員各位に有効利用してほしいと願っている。その第1段階として、第2発表中の教育実践でも学習目標としていたB2レベルのOJAEテストを「ひな型」として公開する。

3.2.1 AJE-SIG としての OJAE



AJEについて
about us

シンポジウム・論文集
シンポジウム・論文集

プロジェクト
projects

ニュース
news

欧州日本語教育事情
欧州日本語教育事情

欧州
japan

AJE-SIG としての OJAE

home | ヨーロッパ日本語教師会

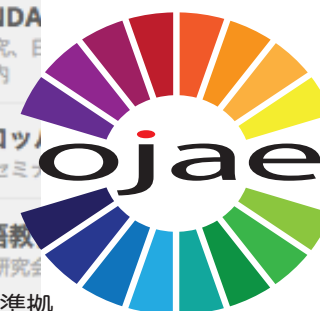


ヨーロッパ日本語教師会

EIJaLE European Institute for
Japanese Language Education
ヨーロッパ日本語教育学研究所



SIG



日本語教
学会や研究
CEFR準拠
日本語口頭産出能力評価法
Oral Japanese Assessment Europe

NATION
HISTORY
総合案内、

EIJaLE

European Institute for Japanese Language Education e.V.

[ホーム](#) [ニュース](#) [EIJaLE](#) [OJAE](#) [お問い合わせ](#) [Impressum](#)

<https://eijale.wordpress.com/>

ホーム

EIJaLE

European Institute for
Japanese Language Education
ヨーロッパ日本語教育学研究所



CEFR準拠
日本語口頭産出能力評価法
Oral Japanese Assessment Europe

最近の投稿

ヴェネツィア ICJLE 2018

旧サイト ojae.org から移転

サイトマップ

[ホーム](#)

[ニュース](#)

[EIJaLE](#)

[OJAE](#)

[OJAEとは？](#)

[CEFR基準とは？](#)

[OJAEテスト形態](#)

[OJAE研究史](#)

[資料](#)

[お問い合わせ](#) [Impressum](#)

Blogroll

[Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment \(CEFR\)](#)

[JF日本語教育スタンダード](#)

3.2.2 EIJaLE-OJAE HP 公開・共有

1) OJAEテスト設計図（配布資料参照）

2) B2テスト・プロンプト

3) B2 テストスクリプト（「シナリオ」）

4) B2 評価シート

その他にも(^^):

—OJAEテストB2動画共有:L2、L1話者同士

—FB実践例

—OJAEテスト作成協働実践

—ベンチマーキング協働研究実践

... などなど

3.2.2.1 OJAEテスト設計図

配布資料

Cf. O'SULLIVAN, B. et al. 2002, "Using observation checklist to validate speaking-test tasks".

OJAEテスト作成 設計図 Blueprint 14.10.2010 akt.26.03.17

OJAE Team
Stand: 26.03.17

コミュニ
ケーション
場面論
+
CEFR-OJAE
階層性

言語行為 Speech Act	通し 番号	コミュニケーション場面理論*を基盤にするOJAEテスト作成設計図 * Cf. JAKOBSON, Roman (1960), KISHITANI, Shoko (1969), KOCH, Walter A. (1976), O'SULLIVAN, Barry et al. (2002)	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
		言語機能 Linguistic Functions							
I. 情報 発信 Informational	1	初対面の挨拶をする Greeting by meeting someone new	X						
	2	自分のことについて話す Talking about oneself	X						
	3	指示語 I (具象的コソソ範列) Deixis I: Ko-so-Paradigm	X						
	4	好き嫌いを話す Stating Liking-Disliking		X					
	5	未来のことについて話す Stating about future		X					
	6	感情を表現する Expressing one's emotion		X					
	7	描写する Describing		X					
	8	比較する Comparing			X				
	9	意見を言う Expressing opinions			X				
	10	理由づける Justifying opinions			X				
	11	過程を説明する Explaining a procedure				X			
	12	提案する Suggesting				X			
	13	指示語 II (コソソア: 前方/後方照応) Deixis II Ko-so-a Paradigm + Anaphora/Kataphora				X			
	14	モダリティ表現 (証拠性・蓋然性) を使う Using evidential markers				X			
	15	考えを述べる Stating one's thought				X			
	16	推測する Speculating					X		
	17	エラボレートする (詳細に述べる) Elaborating					X		
	18	要約する Summarising					X		
	19	他者の感情・考えを述べる Describe other people's feelings and thoughts					X		
	20	最適・簡明に且つ楽々と表現する Expressing oneself with precision appropriately, and effortlessly						X	
	21	ニュアンス・含意の相違、慣用表現なども使い分ける Differentiating finer shades of meanings, connotations, idioms						X	
	22	根拠や論点を一貫して論じる Arguing logically with coherent grounds and points						X	
II. やり取り Inter- actional	23	Yes-No疑問を発する Asking Yes-No-Questions	X						
	24	Yes-No-Questioning Answering Yes-No-Questions	X						
	25	(疑問詞も使って) 発問する Asking for information (including WH-questions)		X					
	26	疑問詞の質問に答える Answering WH-questions		X					
	27	意見を求める Asking for opinions			X				
	28	賛意を述べる Agreeing			X				
	29	異義を唱える Disagreeing			X				
	30	人物インタビューをする Interviewing someone				X			
	31	説得する Persuading					X		
	32	補充する Modifying					X		
	33	相手の反応を確認しながら、うまく自分の案を提案できる Suggesting/Proposing ideas, while checking the responses of the partner						X	
	34	違和感を起こさせずやり取りができる Interacting so smoothly that the interlocutor receives hardly any awkwardness						X	
	35	意味交渉 Negotiating meaning	理解の確認をする Check understanding			X			
	36		理解を合図する Indicate understanding			X			
37	共通基盤を確立する Establish common ground				X				
38	明確さを求める Request clarification					X			
39	発言を訂正する Correct own utterances					X			
40	明確さを求められた際、対処する Elucidate further when requested						X		
41		メタ言語 (高次談話構築手段) が駆使できる Employ meta-language skillfully					X		
III. やり取り管理 Managing interaction	42	話しを始める Initiating a conversation			X				
	43	話しを終わる Ending a conversation			X				
	44	一致協力し合う Reciprocating			X				
	45	決定する Deciding			X				
	46	場面を適切に把握して話しを進める Pacing & leading the given communication situation appropriately				X			
	IV. 社会言語的 適切さ Socio- linguistic appropriateness	47	対者敬語 I (丁寧語=社交語 です・ます調) Person-oriented Honorifics I (desu, masu)	X					
48		授受表現 (～もらう/～あげる) Receiving/Giving goods			X				
49		待遇表現 常体/敬体を区別 Sociatives Informal/Formal					X		
50		恩恵表現 (～してくれる/～してあげる) Receiving/Giving benefits					X		
51		婉曲表現 Euphemistic expressions evading "directness"					X		
52		対者敬語 II (でございます) Person-oriented Honorifics II (de gozaimasu)						X	
53		素材敬語 (尊敬語・謙譲語) Content-oriented Honorifics						X	

3.2.2.2 B2プロンプト(発話誘発資料)



1. 誕生日(たんじょうび)

世界の儀式
せかい んしき
Rituals in the World

OJAE Prompt
P_B2_1_2



2. 結婚式(けっこんしき)



金婚記念写真
昭和60年12月7日 撮

3. 金婚式(きんこんしき)



4. 葬式(そうしき)

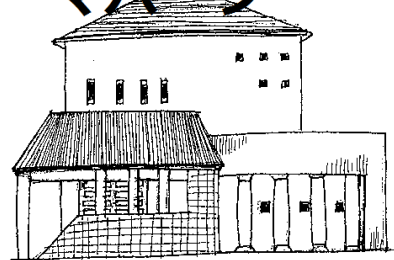


5. 正餐式(せいさんしき)

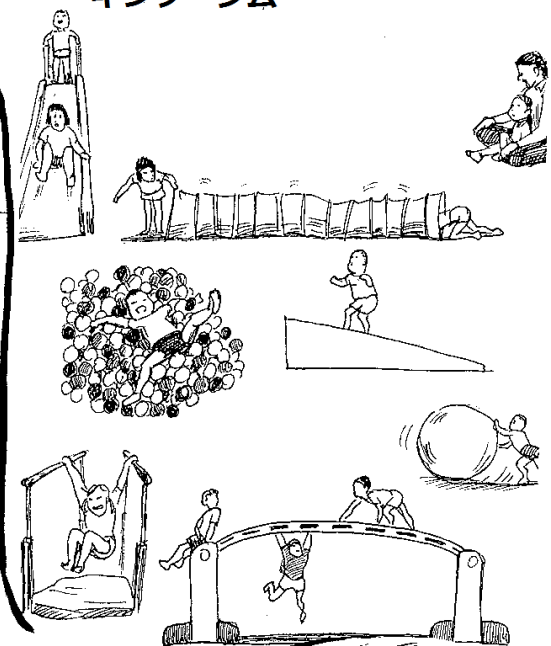


6. 成人式(せいじんしき)

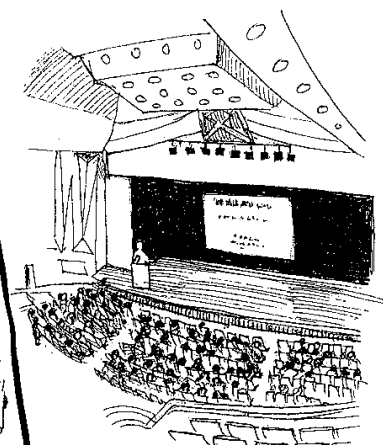
エコ・テーマパーク



キンダージム



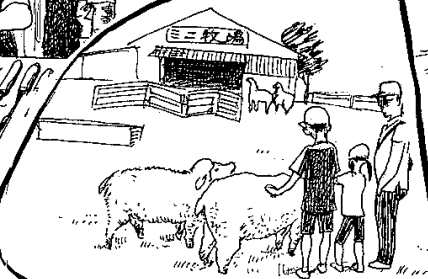
工芸センター



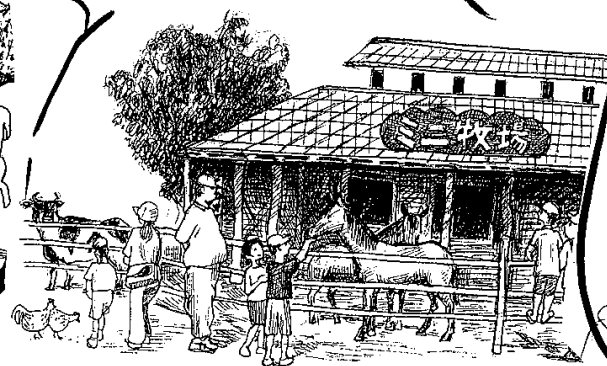
多目的ホール



メリーゴーランド



ミニ牧場



フィットネス・センター

3.2.2.3 OJAE B2 テストスクリプト

Test	レベル	必要時間	部	独・交	設計区	タスク	タスク提示書き	プロンプト
		17分					「今日は、 私は（試験者の名前）です。 あの方は（記録者の名前）です。 よろしくお願いします。」 （被験者Aに）「お名前は？」 （被験者Bに）「お名前は？」 試験者「フェイス・シートをください。」	
B2		0.5+1.5 分×2)=3.5 分 (残り 13.5 分)	I-1	交話	25 23 24	話し相手を(第三者に)紹介するためのインタビュー準備と実施 (被験者ABに) これから、お二人に、それぞれ、相手の人の紹介をして戴きます。相手にいろいろ質問して、それから私に紹介してください。 まず、インタビューの準備として、相手にどんな質問をすればその人の特徴が聞き出せるか、ちょっと考えてください。必要ならメモを取っても良いです。 時間は、準備が30秒、インタビューが1分半、紹介が1分です。では、それぞれ、インタビューの準備をしてください。 ----- (0.5分後) いいですか？ (被験者Aに)「では、インタビューを始めて下さい。」 (Bに)「答えたくない質問は、答えなくても結構です。」 ----- (AはBをインタビュー)「……………」 (1.5分後) 「ありがとうございました。」 (被験者Bに)「では、インタビューを始めて下さい。」 (Aに)「答えたくない質問は、答えなくても結構です。」 ----- (BはAをインタビュー)「……………」 (1.5分後) 「ありがとうございました。」	メモ用紙を渡す	
					8.	(被験者Aに)「では、Aさん、Bさんを紹介してください。」 (A: Bの人物紹介)「.」 ----- (1分後) 「ありがとうございました。」		60

では、次の質問に移ります。これから、お二人で話して戴きます。このいろいろな儀式の写真や絵を見て下さい

「世界のさまざまな文化の中で人はいろいろな儀式をします。お二人は、まず、それらの儀式の中から、話したい儀式を一つ選んでください。そして、自分の国や自分の生まれた町では、その儀式をどのような形で行なうかを1分半で説明してください。

では、まず、どの儀式についてどのように説明したいか、少し考えて下さい。メモが必要なら、どうぞ。

(30秒後に)

(被験者Aに) 「Aさん、どんな儀式について説明して下さいますか？」

A: 私は「〇〇」について、話そうと思います。

「Aさん、それでは、どうぞ、話して下さい。1分半でお願いします。」

(A) 「……………」

(1.5分後に)

「はい、ありがとうございました。」

(被験者Bに) 「Bさん、どんな儀式について説明して下さいますか？」

B: 私は「〇〇」について、話そうと思います。

「Aさん、それでは、どうぞ、話して下さい。1分半でお願いします。」

(A) 「……………」


(1.5分後に)

「はい、どうも、ありがとうございました。」

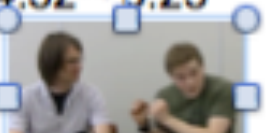

3.3 評価法 合否判定+評価シート レベル達成度

B2 各領域 典型例呈示

呈示レベル	評価領域	呈示該当被験者	能力基準	ビデオ呈示部分	論拠
評価シートと連動させて B2	①使用幅	Stephan/Christophの Christoph	慣れた話題の範囲でなら、意見を述べたり交換したりする際に、適切な語彙を使う。	1.37~3.39 	表現手段がいい、ターンの取り方・前置き（数学に詳しくないんですけども）、言い換え（専攻>専門）、助け舟など
	②正確さ	Stephan/Christophの Christoph	簡単な文法構造はほぼ正確に使い、複雑な文法構造も幾つか使ってみる。	4:32~5.25 	文法、調音、ほぼ正確。複雑な文法もOK
	③流暢性		長めの自由発話では、ときどきつかえることはあっても一定のスピードで話す。		一定のスピード
	④結束性	Bert /Ann-Sophieの Bert	使える結束表現は限られていても、まとまりのある発話へつなげる。	9:40~10:50 	ま、が出現。「~ですけど」くり返し。初めと終わりが明確。
	⑤交話力	Markus/Eikeの Eike	多少違和感はあるが、適切なときに発話権を取る。相手の発言を誘ったり、理解を確認したりして、話を展開させていく。	9:00~12:09 	じゃ、マルクスさん、どう思いますか？サッカーテレビ…？

評価領域	呈示該当被験者	能力基準	ビデオ呈示部分	論拠
①使用幅	Stephan/Christophの Christoph	慣れた話題の範囲でなら、意見を述べたり交換したりする際に、適切な語彙を使う。	1.37～3.39 	表現手段がいい、ターンの取り方・前置き（数学に詳しくないんですけども）、言い換え（専攻＞専門）、助け舟など



② 正確さ	Stephan/Christophの Christoph	簡単な文法構造はほぼ正確に 使い、複雑な文法構造も幾つか 使ってみる。	4:32~5.25 	文法、調音、ほぼ正確。 複雑な文法もOK
③ 流暢性	Christoph	長めの自由発話では、ときど きつかえることはあっても 一定のスピードで話す。		一定のスピード

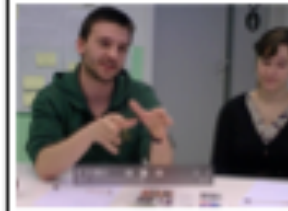


④ 結束性

Bert / Ann-Sophieの
Bert

使える結束表現は限られていても、まとまりのある発話へつなげる。

9: 40~10:50



ま、が出現。「~ですけど」くり返し。初めと終わりが明確。



⑤ 交話力

Markus/Eikeの
Eike

多少違和感は残るが、適切なときに発話権を取る。相手の発言を誘ったり、理解を確認したりして、話を展開させていく。

9:00~12:09



じゃ、マルクスさん、どう思いますか？サッカーテレビ…？



3.4 フィードバックシート： 合否＋アセスメント

OJAE テスト結果・フィードバック用紙

テストレベル：A1-A2-B1-B2-C1-C2



合格！おめでとう！/不合格：次は_____をがんばろう！

試験者		記録者	
受験者		日本語学習歴	母語/媒介語
ピア受験者		日本語学習歴	母語/媒介語
採録データ	日時	会場：	
	Video-No.	文字化 No.	

		使用幅	正確さ	流暢性	結束性	交話力
レベル 評価	I-1	○ 1 ×	○ 1 ×			
	I-2		○ 1 ×	○ 1 ×		
	II			○ 1 ×	○ 1 ×	
	III	○ 1 ×				○ 1 ×
	IV				○ 1 ×	○ 1 ×
領域別コメント						
全体コメント						
課題達成度	1 _____ 5 _____ 10:コメント					
合・否	1=1点; X=0点 採点総項目=10 項目 /10 点満点 60% 合格=6点以上:あなたの得点 点					

抜粋 主要文献

- O'Sullivan, B, Weir, C.J and Saville, N. (2002) `Using observation checklists to validate speaking-test tasks´ in *Language Testing*, 19 (1). pp. 33–56.
- Sakai, Yasuko (2011) *Nihon no ima – Japan heute : Ein Japanischlehrwerk für Fortgeschrittene*. Hamburg: Buske.
- Schäfter, O. (2017). „Komplementäre Debatte und korrelativer Dialog. Eine relationstheoretische Sicht auf kulturell differente Kommunikationskontexte.“ Unveröffentlichtes Manuskript.
- Taylor, L and Wigglesworth, G (2009) „Are two heads better than one? Pair work in L2 assessment contexts“. *Language Testing*, 26(3), 325–339.
- 萩原幸司・高木三知子・山田ボヒネック頼子 (2011)「OJAE Workshop No. III AJE 15th Symposium Bukarest, Romania 2010 OJAE:CEFR 準拠 OJAE—日本語スピーキングテスト及び評価法—」『ヨーロッパ日本語教育』15. pp. 248-259.
- 根岸雅史, 中学校英語教育研究会編著 (2007) 『コミュニカティブ・テストイングへの挑戦 A practical guide to communicative testing』三省堂
- OJAEチーム2010(2010)『欧州共通言語参照枠レベル例示: A1-A2-B1-B2-C1-C2 日本語「発話・交話」—「CEFR準拠口頭産出テストと評価法」の確立へ向けて— 研究報告・基準ビデオ搭載DVD』OJAE 2010.
- 吉島茂, 大橋理枝(2004)『外国語教育 II-外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠 (Japanese translation of the CEFR)』朝日出版社.

EIJaLE European Institute for Japanese Language Education

ヨーロッパ日本語教育学研究所



CEFR準拠
日本語口頭産出能力評価法
Oral Japanese Assessment Europe



協働思考をありがとうございました。

「走行実験呼びかけ」半券をお願いします。